

平成26年7月11日

総合資源エネルギー調査会
原子力小委員会御中

委員 友野 宏

本日は業務の都合で原子力小委員会を欠席せざるを得なくなりました。このため、書面をもって意見を述べさせていただきます。

原子力に対する我が国の方針は、これまで専門の審議会や政府内部で、長い時間をかけて、多方面に及ぶ影響や課題を勘案した検討を経て決定され、エネルギー基本計画に織り込まれたものと理解しています。私はその検討の過程や結果を支持いたしますし、また尊重されるべきであると考えます。本委員会のミッションが、「エネルギー基本計画に示された原子力に関する方針に基づき、必要な措置を検討すること」であることを常に念頭に置いて、建設的な審議がなされるようお願いいたします。

本日は示された「検討課題の整理（案）」では、非常に多岐かつそれぞれに高度な専門性を要する課題が示されています。本委員会の場において、全ての課題について詳細にわたる検討を実施することは、それぞれの専門性においても時間的な制約においても困難と考えられます。このため、課題によっては、透明性等を前提としたうえで、専門委員会を設置して検討レベルを深めていただく等の工夫をお願いしたいと思います。

以上